

7月の主な行事予定

		内容	放課後遊び
7月	1日(金)	食育朝会 発育測定(1・2年) 鼓隊(マーチング)講師指導(5・6h)	○
	2日(土)		
	3日(日)		
	4日(月)	児童朝会 なかよし交流(1・2年) 発育測定(3・4年) 委員会 図書ボランティア	○
	5日(火)	クリーン作戦(本村前浜 1・2・5・6年、若郷前浜 3・4年)	○
	6日(水)	七夕集会 発育測定(5・6年・あしたば学級) 避難訓練	○
	7日(木)	都学力向上調査(5年) なかよし交流予備日(1・2年) 放課後鼓隊	○
	8日(金)	クリーン作戦予備日 漢字検定(新中会場)	○
	9日(土)		
	10日(日)		
	11日(月)	児童朝会 なかよし交流予備日(1・2年、雨天決行) クラブ	○
	12日(火)		○
	13日(水)	保護者会(6h 1~3年、放課後 4~6年あしたば学級) 薬物濫用防止教室(3h 5・6年) スクールカウンセラー来校	○
	14日(木)	たてわり給食 放課後鼓隊	○
	15日(金)	荘川小交流準備	○
	16日(土)		
	17日(日)	荘川小交流出迎え(6年)	
	18日(月)	海の日 荘川小交流(6年)	
	19日(火)	児童朝会	○
	20日(水)	終業式 大掃除(5時間目) 給食終	○
	21日(木)	夏季休業日始 夏季水泳指導①	ラジオ体操
	22日(金)	夏季水泳指導②	
	23日(土)		
	24日(日)		
	25日(月)	夏季水泳指導③	
	26日(火)	夏季水泳指導④ 検定日	
	27日(水)	夏季水泳指導⑤ 判定日	
	28日(木)		
	29日(金)		
	30日(土)		
	31日(日)		

- 【生活指導目標】 健康を考えて生活しよう。
- 【安全指導目標】 夏の安全な過ごし方を考えよう。
- 【保健指導目標】 夏を健康に過ごそう。
- 【給食指導目標】 旬の食べ物を知り、夏を元気に過ごそう。



新島 学びの庭

No. 101 7月号
平成28年7月1日
新島村立新島小学校
学校だより

「いじめの芽」のうちに

校長 加藤 謙二

一学期も残すところ二週間余りとなりました。子供たちにはしっかりとまとめをさせ、目的をもって夏休みを迎えさせたいと思います。さて、四月の学校経営方針で示した「安心できる誰もが大好きな学校」であるためには、「いじめのない学校であること」も大切な要素です。

いじめには「いじめの芽」や「いじめの芽の芽」があることを御存知と思います。何となく感じる違和感、できれば近付きたくない感覚、考えが合わない不信感、やきもちをやきたくなる感覚等、これらは人々人と関われば必ず生じるものです。そこから「いじわる」が始まります。実は、これらが「いじめの芽の芽」です。そして、もう少しエスカレーターしてくると「口論」「威圧」「ひやかし」「からかい」「しかと」「はずし」等となります。具体的には「靴隠し」「はやしたてる」「無視する」などの姿として表れてきます。これが「いじめの芽」です。

普通はここまで誰かが気付くはずですが、不幸にしてこれに気付かないか、気付いても互いに注意し合わないか、見て見ぬふりをすると、こうした「いじめの芽」がエスカレーターしてしまい、「物を壊す」「暴力

をふるう」「みんなで無視する」などの本格的な「いじめ」となってしまうのです。つまり、いじめはあるかないかという二択で生じるのではなく、些細なことから徐々に進行し、それを周囲が止められないか、忙しいから、面倒くさいから、厄介だからと言って知らぬ顔していると、どんどんエスカレーターして最後は取り返しのつかないことになるというのが現実です。

いじめの原因を特定することは難しいですが、遠因となりうるものをいくつか考えることはできます。例えば、子供が良好な友達関係を築けないとき、子供が不満や悩みのはけ口を相談できる相手がいないとき、子供自身が感情的になった場合にそれを発散する方法を見付けられないとき、嫌なことを嫌だと言え、悪いことはやめようと言える勇氣や表現力が子供に育っていないとき、子供同士でけんかをうまく仲裁できないとき、周囲にいる者が、子供の悩んでいる姿や「いじめの芽」を早期に察知できないとき、「いじめ」のやり方をドラマやアニメで具体的に紹介しているマスコミの姿勢・・・などです。

いじめを芽の段階で解決できる学校でありたいです。そのためには、風通しのよい学校でなくてはなりません。本校でいじめの疑いが見られたならば、すぐに全体に報告させ、みんなであらゆる解決策を取ります。早期にいじめを発見して、子供たちや保護者にも働きかけ、芽のうちに解決することが本人にとっても家庭・学校にとっても最良だと考えるからです。保護者や地域の皆様との連携を大切にして、いじめの未然防止、早期発見・早期解決を図りたいと思います。

五年生移動教室

五年担任 土橋 弘明

五月十八日(水)から二十一日(土)まで、五年生は移動教室に行ってきました。今年度は、天候の心配もなく、出発前に掲げたスローガン「知って・学んで・楽しもう五年生だけの移動教室!」を十分に達成することができました。各見学先での子供たちの様子を紹介します。

① 国立科学博物館
上野にある通称「科博」では、日本館・地球館で科学に関する様々な展示物を見学してきました。中でも、シアター360という上下左右から映像が迫ってくる施設は迫力満点で、上映を二回も観た行動班もありました。

② 日産横浜工場
自動車のMRエンジンを組み立てる行程を見学しました。シャフトやプラグなど専門用語が多数あり、難しい内容のところもありましたが、最後まで熱心に案内の方の話を聞く姿があり感心しました。

③ ロッテ浦和工場
子供たちがよく知っている「ガーナチョコレート」と「パイの実」の製造工程を見学しました。見学後には、チョコレートを食べ比べもあり、目や耳だけではなく、舌でも学習することができました。

④ 毎日新聞社
新聞の歴史や、新聞を発行するまでの一連の流れを学ぶことができました。普段社員以外は入ることのできない社内見学では、実際に働いている様子を見ることができ、子供たちは興味津々でした。

⑤ キッザニア東京
様々な職業体験をしました。体験して作ったものを食べたり、お金を稼いだりと、非日常的な活動の連続で子供たちの中では、一番思い出を作れた場所だったのでないかと思えます。

来年の移動教室では、今回の経験や反省を生かし、子供たち自身がより先を見通して計画できるようになります。自分たちだけの一生の思い出に残るような移動教室になることを期待しています。

地区音楽会を終えて

音楽専科 浅海 佳代

第五十九回新島地区音楽会は、今年は式根島小学校で開催されました。子供たちの一生懸命な練習の成果が実り、素晴らしい発表となりました。

低学年合唱「手のひらを太陽に」は元気な声で歌うことができました。合奏「くまのおどり」はリズムにのって、体いっぱい使って発表することができました。

高学年合唱「海の声」は担任の先生の工夫された指揮のもと、気持ちを入れて歌えました。鼓隊「残酷な天使のテーゼ」は、音をそろえ、はぎれのよい演奏をめざして演奏することができました。

たくさんの方にお世話になりました。ありがとうございました。



あしたば学級より

あしたば学級担任 波田地 昭子 市川 賢治

五月に、三泊四日という長旅の移動教室に5年生と一緒にに行ってきました。おうちの方々の心配をよそに、子供たちは本当によく食べよく歩き、見学も宿での生活もすべて楽しみ切って、元気一杯帰ってきました。

この貴重な経験から約一か月後の六月二十三日・二十四日の二日間、今度は新島に他島の学級を迎えての三校交流が行われました。大島・つばき小の三原学級と神津小の支援学級の子供たちが宿泊学習を兼ねて来島しました。その準備に、子供たちは息つく暇もなく取りかかりました。合言葉は、「心を込めておもてなししよう」「力を合わせて準備しよう」。交流一日目の午前中は調理学習で、すりこぎ「餅つき」を楽しみました。みんなに喜んでもらおうと、あしたばの子供たちが一生懸命考えた、つきたて餅レシピの数々。みんなで作り、バイキング方式で、好きな餅を選んで頬ばる時には大盛り上がりでした。午後は体育館で、『ポッチャ』という競技を楽しみ、翌日の午前中は、勤労福祉会館で『ボウリング大会』。地元の島にボウリング場がないため初めてやる子もいました。みんなで応援し合い、アドバイスや拍手をし合いながら、本当に楽しい思い出のひと時となりました。港での解散式の後、手作り大漁旗を振りながら、「来年はいくよ〜」「また、会おうね〜」など声の限りに見送っている姿から、やり遂げた達成感と充実感がうかがえました。

三校交流に向かって自分たちで考えたり、協力して行動したりすることに挑戦した子供たち。失敗したり、うまくいかないこともあったりしたけれど、全部かけがえのない宝験です。これからも、一人一人の自主性を伸ばしていく学習活動を心がけていきたいと肝に銘じました。



給食も楽しく一緒に

